# 2つの請願をめぐる厚生文教常任委員会の議論をダイジェストで紹介

6月5日に開会した6月定例議会は30日に閉会しました。議案の採決結果は次号でお知らせしますが、これに先立ち22日には、厚生文教常任委員会で2つの請願に対する審査が行われました。

## 市民の切実な要求が厚生文教常任委員会で不採択に

甲賀年金者組合から提出されていた「物価上昇に見合う老齢基礎年金等の改善を求める請願」（紹介議員＝瀬古幾司・福井進・山岡光広の三名）と、新日本婦人の会甲賀支部から提出されていた「小中学校の女子トイレに生理用品設置を求める請願」（紹介議員＝田中喜克・福井進・岡田重美）の審査が22日、付託された厚生文教常任委員会で行われました。審査のポイントを傍聴した西山実議員がダイジェストで紹介します。

### 物価上昇に見合う老齢基礎年金等の改善を求める請願

審査に先立ち提出者から請願の願意の説明があり、その後紹介議員の山岡光広議員が「異常なほどの物価高騰が続いている中、年金が物価上昇に見合う形で支給されるように国に要望を」と請願への賛同を求めました。

**◆「請願者の思いは受止める」と言いながら請願採決には反対**

討論では、公明党の木村眞雄議員が、「請願者の思いは受け止める」としながらも「年金制度を今後も持続可能なものにしていくためには、需給バランスをしっかりと考えていかなければならない」「物価高は子育て世代にも同様に波及しており、公平性が担保されなければならない」「年金引き上げに伴って保険料が増えたら、収入の少ない人にも負担をかける可能性がある」と反対の立場から討論しました。

**◆異常な物価高の中で年金受給者の生活を支えるために必要**

日本共産党の山岡光広議員は、「6月支給分から三年ぶりに年金額が引き上げられたが、異常な物価上昇分を差し引きすると実質減額になっている。少なくとも物価上昇に見合う年金を引き上げることは憲法25条の立場からも必要」と賛成の討論をしました。採決の結果、賛成は田中喜克議員と山岡光広議員の2名でした。

### 小中学校の女性トイレに生理用品の設置を求める請願

提出者から請願の願意が説明されたのち、福井進議員、岡田重美議員が紹介議員として「生理用品を学校のトイレに」「児童・生徒が使いたいときにすぐ手に入るよう、保健室ではなくトイレに」と請願への賛同を求めました。

**◆生理の貧困の根本的な解決につながるものではなく、甲賀市のカーボンニュートラルの方向性とも合致しない…**

意見や討論で意外だったのは、自由民主党誠翔会の北田麗子議員の発言でした。「生理用品をトイレ置くことは、相談のきっかけをなくすことになる」「使い捨て紙ナプキンは、ほとんどが石油由来成分。市が積極的にプラスチック製品の消費に向かうということは、環境未来都市宣言をした本市の方針と異なるもの」と反対討論したのです。

**◆トイレに生理用ナプキンを置くのは当然のこと**

これに対して無会派の田中喜克議員は「小中学校の児童生徒は、心身ともに発達の途上であり、生理は個人的な問題でなく、すべての女性の生涯を通じた健康の問題」と強調。日本共産党の山岡光広議員も「トイレにトイレットペーパーを置くのは当たり前のこと。その考え方からしたらトイレに生理用ナプキンを置くのは当然のこと」と公明党の堀郁子議員が一般質問で要望されたことも紹介し賛成討論しました。

採決の結果、賛成は田中議員と山岡議員の2名のみ。公明党の木村議員は反対の態度でした。

# 今年も国民平和大行進

8月の広島・長崎めざして歩み続ける原水爆禁止国民平和大行進が6月17日、甲賀・湖南地域を行進しました。午前9時から甲賀市役所前での出発式には、岩永市長・谷永議長から「核抑止ではなく、核兵器廃絶を」と熱いメッセージとともに原水爆禁止のペナントが手渡されました。その後、日本共産党の山岡・岡田・西山の3名の議員団と立憲民主党の福井議員を先頭に、市内を行進しました。(写真)


日本共産党
甲賀市議員団ニュース
2023年 7月 2日 第454号

山岡 光広
甲南町森尻 16
TEL 86-2985
Fax 86-0415

岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
TEL 66-0696
Fax 66-0696

西山 実
水口町本丸 3-28
TEL 62-3044
Fax 62-3044